

# 新館開館10周年記念講演会 「昔ばなしが語る子どもの成長」

平成23年12月22日(木)、精華町立図書館新館開館10周年記念行事として、小澤俊夫先生の講演会を行いました。

「昔ばなしが語る子ども成長」と題し、『灰かぶり』、『白雪姫』、『うまかたやまんば』、『かちかち山』、『三年寝太郎』、『ヘンゼルとグレーテル』などの昔ばなしを題材に、口伝えされてきた昔ばなし特有の語り口を通して昔ばなしが伝えるメッセージ、子どもの成長についてお話されました。

昔ばなしのシンプリな語り口は、耳で聞いて分かりやすく、子ども達にゆったりとした世界観を感じさせるとのこと。そして昔ばなしを、大人が子どもに「生」の聲で聞かせること、語り手の呼吸や体温を感じさせることで、子ども達は「自分が相手にされている」「自分が愛されている」と実感できるとのお話がありました。

講演会には104名の方に参加していただき、大変盛況のうちに終了しました。

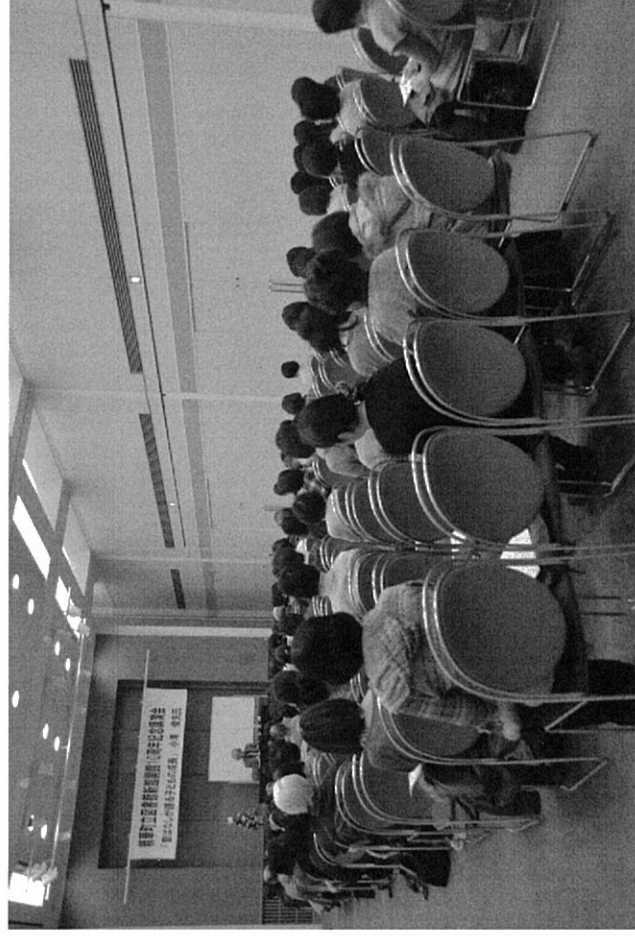


ILLUSTRATION VON OTTO UBELORDE



## 講演会に参加された方の感想

簡潔にして奥深い昔話の語りの世界に魅了されました。早速、三歳の息子を寝つかせる時に布団の中で「ももたろう」を語りながら、静かに耳を傾けている様子。本を介さないせいか、息子との距離が近く感じられました。

(30代 M・Hさん)

子供の頃、忙しかった母が眠りにつく前に昔話を聞かせてくれたことを思い出しました。母を独占できる唯一の時間だったかもしれません。なにげに語ってくれていたことが大きな意味があったのだと、小澤先生のお話を聞かせて頂いて思いました。先生は「子供の魂の安定した成長があれば知識は自然と身につく社会に出てちゃんとやってくれる力を育てることができると言われまました。具体的な例を交えてのお話は分かりやすかったです。愛し、信頼し、価値を認めて育てていければ、子供の未来は明るいと思いました。(50代 K・Yさん)



『うまかたやまんば』おざわとしお (福音館書店)

## 講師 小澤俊夫 先生 プロフィール

日本各地で昔ばなし大学を主宰。季刊誌『子どもと昔話』や『子どもに贈る昔ばなし』シリーズ(小澤昔ばなし研究所)の刊行にも力を入れ、昔話の研究と語りの現場を結びつけることに努めている。2007年ヨーロッパ・メルヒェン賞受賞。2011年ドイツ・ヘッセン州文化交流功労賞受賞。著書に『昔話からのメッセージ』(小澤昔ばなし研究所)、『昔話の語法』(福音館書店)等。

## おすすめ!

\* 『子どもとよむ日本の昔ばなし』(全30巻)

小澤俊夫監修 くもん出版

子ども達の手にとりやすい、小さくて可愛らしい昔ばなし絵本シリーズです。小澤俊夫氏が監修しているこのシリーズは、脚色のない本来の昔ばなしにそって、語りやすく耳で聞いて解りやすくなっています。定評のある画家たちによる、個性あふれる挿絵も魅力的です。

## 今後の行事

図書館親子手作り教室 平成24年3月4日(日) 精華町立図書館1階集客室  
 ・一部 ふわふわうき玉、くるりんこま 9時30分~10時30分  
 ・二部 くるくるレインボー、マジックカード 11時~12時  
 ※親子先着20組です。

## 配送貸出サービス

※ 精華町立図書館では、図書館資料の配送貸出サービスを行っています。障害者手帳をお持ちの方等、利用には一定の条件があります。詳しくは図書館までお問合せください。